

## 第2回 運営推進会議次第（及び会議録）

小規模多機能型居宅介護支援事業所ひだまり  
令和4年7月14日（木）14:00～  
ひだまり相談室にて

### 1、挨拶

役職	氏名	出欠
古河市高齢介護課	海老沼様	○
古河市社会福祉協議会	千野様	○
町内会長	関様	
地域関係者	羽部様	
古河市消防団 第16分団長	飯塚様	○
駒羽根交番 所長	北島様	○
宅配クック ワン・ツウ・スリー 統括マネージャー	鈴木様	
法人代表	四本まゆみ	○
顧問	四本博文	○
管理者	四本剛	○
計画作成担当者	明戸	○
職員	山田	○
職員	綾世	○

### 2、議事

- ① 運営推進会議について 海老沼様
- ② 事業所の状況  
・現在の利用者数 17名（男性7名 女性10名）  
・利用者の平均年齢 84歳  
※最少年齢73歳～最高年齢96歳
- ③ 事故報告 1件

## 令和4年度 第2回 運営推進会議 会議録

令和4年7月14日

ひだまり 2階 小多機スタッフルーム 14：00～

### 1.運営推進会議について

古河市高齢介護課 海老沼様

#### <運営推進会議とは>

介護保険制度の中で定めた規定に基づき、地域密着型サービス事業所が自ら設置していくもので、利用者様の家族や地域住民の代表者等に、提供しているサービス内容を明らかにしていくことでサービスの質を確保し、地域との連携を図ることを目的とします。

#### <運営推進会議の基準>

活動状況などの報告またはサービスごとに示された開催回数を除き、具体的な課題内容を示す規定はありません。

グループホーム・居宅・地域密着小多機：2か月に1回

地域密着型通所介護：6ヵ月に1回

その為、この運営推進会議を事業所の運営にどう役立てていき、地域の関係者と一緒にどのようにこの仕組みを活用していくのかを考えていくことが大切になり、事業所が地域との連携・ネットワーク構築を意識して会議への参加を依頼していくなど、積極的な姿勢で取り組むことが必要になります。

#### <質疑応答>

苑長：地域の方たちへ是非参加をして欲しいと思っているのですが、会議が平日の為にどうしてもお仕事をしている方が多く、中々参加することが難しいのですが、どのようにすればもっと参加しやすくなるのかお知恵を拝借出来ればと思っております。他の事業所さんで行っている取り組みなどありましたら、教えて頂けないでしょうか？

海老沼：町内会長、区長、民生委員の方が参加していることが多いです。  
ひだまりさんのように警察や宅配クックなどに声を掛けているところは少ないので、幅広く声を掛けているなと思っています。

顧問：民生委員さんが一番その地区の事を把握していると思っていましたが、是非、ひだまりと一緒に行事等が開催することができ参加をすることが出来ればと思っております。

高野の担当の民生委員さんは何人位いますか？

海老沼：福祉推進課に問い合わせをしていただければ分かると思いますので、一度問い合わせをしてみて下さい。

## 2.事故報告

先日、小多機利用者様の音無さんが行方不明になつた件についての報告

利用者様のプロファイル

氏名：音無一晃

区分：要介護1

年齢：77歳

既往歴：アルツハイマー型認知症

住所1：長谷町 家賃滞納、たばこの火が危ないとなり退去

住所2：水海

熊本県で生まれ、流れに流れて古河の地へきました。  
当初はデイサービス福寿苑で契約をしていましたが、迎えに行くと行きたくないや早く帰りたいなどの訴えがあり、デイサービスでは対応が難しくなり、小多機での契約となりました。

最初は11時～13時までの対応（お風呂とお昼を食べて帰る）

現在は11時～15時・16時までの対応となっています。

夏場になり、外へ出かけてしまう心配があり、日曜日にお泊りをする方向で検討をしていましたが、本人が窓ガラスを割って出てやるなどの発言が多く、対応するスタッフが恐怖を感じた為、お泊りは断念して、日曜日に迎えに行こうにしています。

<行方不明になった当日の流れ>

※別紙参照

<発見時の利用者様の状況>

本人様は「散歩をしていた」「沢山歩いて疲れたし、雨も降ってきたので休んでいただけ」と発言

左足を少し引きずる様子が見られるが外傷なし

財布に1万6千円所持

普段はたばこを吸わないが、たばこ1箱、ライター2本、鉛筆3本

昔に取得した免許証が入っている財布とカードケースを所持

<再発防止策・検討事項・今後の課題>

散歩のつもりで外出したが、アルツハイマーの症状が出て帰り路が解からなくなり行方不明になってしまふ等、色々なことがどちらか混ぜになってしまっている。

先週の日曜日にも同じようなことがあり、その際は自分の力で自宅へは戻れたのですが、このままでは本人様に万が一の事が起きたかもしれないで、今後の支援をどうしていくのが良いか地域包括支援センターの方へ相談をしようとしていた矢先の今回の事故があつたので、この運営推進会議で皆様のお力を貸して欲しいと思い、議題としました。

お金は苑長の方で管理をしているため、本来はたばこを買うお金もないと思っていました。去年まではひだまりの使用料以外は本人様に渡していたので、その残金が残っていたので、買い物という形で出て行ったのではないか。命あつての小多機でありディサービスだとおもいますので、今までなんとか命を繋いできましたが、その命をどう守っていくのかを考えて頂きたい。

ひだまりより：発見時に地域包括支援センターの担当者へ連絡を入れたが時間が遅かったために連絡がとれず翌日の報告となってしまいました。その際も、担当者の方からどうなったのかと連絡を頂き、ご心配をかけてしまったので、今後どのように連絡をすればよろしいでしょうか？

回答：無事に保護した時は、翌日の報告ではなくその日のうちにFAXを頂ければ幸いです。万が一命に関わるようなことが起きた際は、担当者は24時間つながる携帯電話を持つっていますので、市役所の生活安全課に連絡をしてください。そこから、地域包括支援センターの担当者へつなぎます。

四本：音無さんは携帯電話を常に持つて外出します。今までには電話を掛ければ出してくれていたので、周りを見渡してもらい、その景色を話してもらう事で発見が出来ていました。

現在は壊れているために使用不可能なため、子供が持っている携帯でGPS機能のあるものへの変更も考えています。このGPSの精度はどれくらいですか？

回答：電源が入っていないければ探すことできません。

以前に、地図を出しているゼンリンの方でもっと精度の高いシステムがあるという話を聞いたことがあります。一度調べてみてはいかがですか。

認知症の方はリミッターが外れているので、疲れ知らずです。

今までと、横浜などへ行った方もいらっしゃいます。

足腰がしつかりしている方が行方不明になった時はまずは警察に届けた方が見つかる確率は高いです。

次回開催予定

9月8日(木) 14:00

ひだまり 2階 小多機スタッフルーム